



東北大学



平成 24 年 8 月 2 日
東北大学病院
東北大学大学院 医学系研究科

HIV 変異株に高い抗 HIV 活性を発揮する

4'-Ethyneyl-2-fluoro-2'-deoxyadenosine (EFdA) の開発

東北大学病院内科・総合感染症科 児玉栄一助教らのグループが、ヤマサ醤油株式会社（千葉県銚子市）、熊本大学、京都大学、横浜薬科大学と共同で進めてきた新規のヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症治療薬の研究・開発が、米国 Whitehouse Station, N. J. の Merck & Co., Inc. への独占的ライセンスの供与に至り、今後、本格的な臨床開発へ向けた段階と進むことになりました。

東北大学病院内科・総合感染症科 児玉栄一助教のグループは予めからヤマサ醤油株式会社（千葉県銚子市）、熊本大学、京都大学、横浜薬科大学と新規のヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症治療薬の研究・開発を進めて参りました。

HIV は免疫の働きに重要なリンパ球である CD4 陽性 T 細胞に感染して免疫力を低下させ、いろいろな感染症に対する抵抗力が著しく低下して最終的にエイズを引き起こします。

これまで複数の抗 HIV 薬を用いた多剤併用療法によって、感染者・発症者の臨床症状は軽減され、今や感染者の寿命は非感染者の寿命に近くなりました。さらに、治療によって「二次感染」も阻止できることが明らかになって参りました。一方で長期間にわたる治療中に感染者・発症者のなかには抗 HIV 剤に対して耐性を獲得した薬剤耐性 HIV と呼ばれる変異株が出現して治療効果が得られなくなることがあります。

児玉助教のグループらが開発を進めて来た候補薬、4'-Ethyneyl-2-fluoro-2'-deoxyadenosine (略称 EFdA) は、高度の耐性を獲得した HIV 変異株にも抗ウイルス活性を発揮してそれらの増殖を極めて強力に阻止します。この EFdA はマウスのみならずサルに投与しても副作用なく HIV の増殖を強力に阻止して CD4 陽性 T 細胞を感染から効果的に守る事が示されています。

今回ヤマサ醤油株式会社はこの EFdA の臨床開発権の独占的ライセンスを米国 Merck & Co., Inc. Whitehouse Station, N. J. のに供与しました。EFdA はこれからいよいよ臨床開発へ向けた次の開発段階と進むこととなります。

EFdA の研究・開発は熊本大学エイズ学研究センターの満屋裕明教授、岡田誠治教授、京都大学ウイルス研究所の松岡雅雄教授、横浜薬科大学の大類洋教授などとの共同で進められました。

(お問い合わせ先)

東北大学病院内科・総合感染症科

助教 児玉 栄一 (こだま えいいち)

電話番号 : 022-717-7199

Eメール : kodama515@med.tohoku.ac.jp

(報道担当)

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

長神 風二 (ながみ ふうじ)

電話番号 : 022-717-7908

ファックス : 022-717-8187

Eメール : f-nagami@med.tohoku.ac.jp